

従業員の体調管理やこまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど食中毒予防のために実施している一般衛生管理が新型コロナウイルス感染拡大の予防になりますが、**今回は社員食堂・更衣室・休息室など製造現場以外**も含めて三つの密の発生リスクがあることを評価して適切な感染拡大の予防措置を講じることをご提案します。

## イオンディライトが提案する「製造現場」以外の予防処置



1. 「自己防疫」のための基本対策（接触感染防止）
2. 「換気」対策～「1人あたり換気量：30m<sup>3</sup>/h」の確保
3. 「接触感染防止」のための対策
4. 「飛沫感染防止」のための対策
5. 「環境衛生」を実現するため基礎対策

## アルコール噴霧器の設置（ノータッチ式ディスペンサー）



**作業の内容と場所が変わるポイント**での、**確実な手指消毒を習慣化**するため、**出入口や更衣室、荷受出入口等**にアルコール噴霧器を設置します。

## アルコールワイプの設置

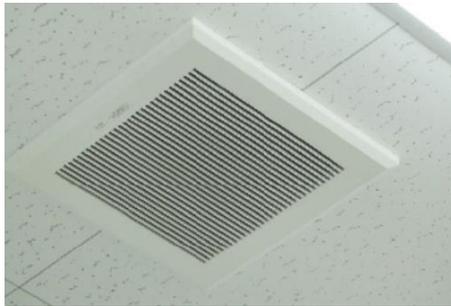


机やテーブルを使用前に消毒したいとき、汚れが気になったとき、**いつでもすぐに消毒清掃ができるよう**、**事務所等の居室**にアルコールワイプとゴミ箱を設置します。

## 2.「換気」対策～「1人あたり換気量：30m<sup>3</sup>/h」の確保

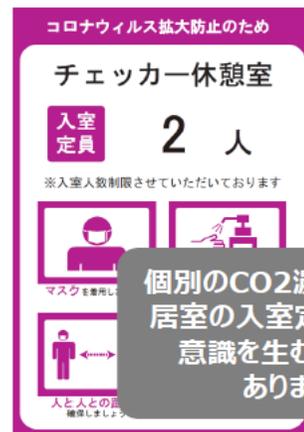
「新型コロナウイルス厚生労働省対策本部」では、多数の人がいる施設等において、「換気の悪い空間」に該当しない**基本換気量は「1人あたり30m<sup>3</sup>/h」と**しています。「空気調和・衛生工学会」からも同様の見解が提示されています。

### 1人あたり30m<sup>3</sup>/hを満たしていない居室に、換気(または全熱交換器)を増設



居室の換気量を確保する事に加え、後方から屋外への排気量も増加させます。  
※増設できない部屋には飛沫感染対策の紫外線装置による空気清浄を行います。

### CO2濃度センサーとモニターを居室に設置、換気状態を可視化



個別のCO2濃度表示は居室の入室定員を守る意識を生む効果があります

CO2濃度を測定し、一定時間毎に電子ペーパーに書き換え表示します。インターネットを使用して遠隔で数字を確認する事が可能です。

### 3.「接触感染防止」のための対策

#### 従業員トイレのドアを自動開閉化



従業員用トイレのドアを自動化します。  
既存のドアを残し、電動装置を設置、非接触スイッチ  
で開閉を行います。



電動ドア開閉装置



非接触スイッチ

#### ウィズコロナ時代の新たな基準の清掃サービス「ニュースタンダードクリーニング」の提供



病院向けに提供している当社独自の衛生清掃サービスをベースに感染制御学の専門家監修のもと科学的根拠に基づいた、衛生的な環境を実現する清掃サービスを提供します。  
教育を履修した「防疫対策清掃チーム」が、適切な資材の管理とマニュアルを遵守した清掃作業を実施いたします。

## 4.「飛沫感染防止」のための対策

### 居室の机、テーブルにアクリルパネルを設置



事務所、休憩室等の居室に設置。  
飛沫感染を防止します。

### 有人環境でも使用できる抗ウイルス・除菌技術「Care222」の設置



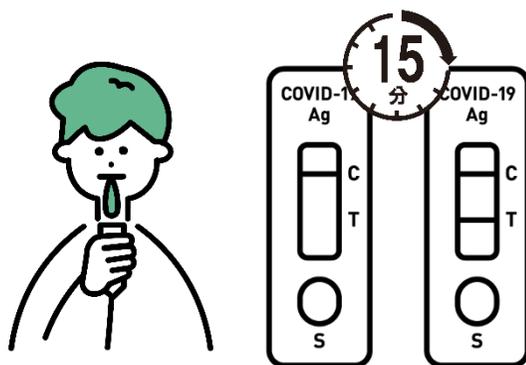
人体に悪影響のない紫外線を使用した、殺菌用光源「Care222」により狭い部屋での空気を清浄化します。222nm紫外線照射により、エアロゾル化した空気中のヒトコロナウイルスの99.9%以上が不活化されたことが報告されています。

### 統一されたピクトグラム の 掲示



どなたでも、実施すべき行動がわかるように  
事務所、休憩室等の居室に掲示します。

### 【研究用】簡易抗原検査キットの活用



集団免疫の獲得ができるまでは、感染力がより強い「変異株」がいくつか流行が続きます。

保健所が指定する濃厚接触者の「漏れ」による従業員の感染拡大を防止し、安定操業の一助になります。

※検査結果から確定判断に使用するものではありません。確定診断が必要な場合は保健所又は医療機関でお願いいたします。

